

## 令和5年度事業報告

令和5年度の国内経済は、中東情勢やウクライナ情勢が緊迫する中、原油価格は、高値安定となり、価格転嫁が進まない業界の現状は厳しいものとなった。

また、諸物価高騰に対して、賃上げが追い付かず、実質賃金は、マイナスとなり、国民生活に大きな影響を及ぼした。

熊本県下の経済についても、台湾の半導体メーカーTSMCの熊本県進出は、関連するサプライヤーの進出もあり、県の経済活性化に大きな期待を寄せたが、反面、地価高騰、渋滞問題、周辺地域の人件費高騰といった不安も大きなものとなった。

トラック運送業界においては、2024年問題の対応、燃料価格の高騰、若年労働者不足、さらには荷主企業との運賃交渉難航など、会員事業者の経営難が続き、令和5年4月から本年3月までの間に会員24事業者が休廃止等により退会となるなど、厳しい業界の現状が浮き彫りになった。

今後、少子化が進展する中で、政府では、運転手不足への対応が重要な課題であることや物流が国民生活や経済を支える社会インフラとなっており、物流の停滞が懸念される「物流の2024年問題」を踏まえ、昨年3月には「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」を設置し、総理指示により、令和5年6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」を決定し、商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容を具体的な施策として定めた。その後も10月には、「物流革新緊急パッケージ」を決定し、物流の効率化などに対する予算措置が行われ、併せてトラックGメンの設置による荷主・元請け事業者への監視体制の強化を行うなど、業界を支援する取り組みが現在も行われているところである。

これらの状況から、当協会では県内12支部との共催により、改正改善基準告示の説明会を行い、会員企業はもとより荷主企業に対しても、業界の現状等の理解を進める取り組みを行った。また、10月には、県下約3,000社の荷主企業に対して、熊本運輸支局長、熊本労働局長、熊本県警察本部交通部長、協会長の4者連名により、「トラック運送事業の適正取引及び事故防止に関するお願い」の文書を発出し、荷主企業に対して、適正な取引環境を整備すべく、周知啓発活動を行った。

また、経営基盤強化対策の一環として、県内民放テレビ4局の朝のニュース番組枠で「標準的な運賃」「燃料サーチャージ」「2024年問題」についての意識啓発CM放送を展開し、さらに人材確保対策のためのリクルートショートフィルムを制作し、SNS広告でもトラックドライバーの活躍をPRする取り組みを行うなどして、会員事業者の採用の後押しとなる積極的な広報活動に取り組んだ。

そのほか、トラック運送事業者への支援に係る要望は、下川会長をはじめ各副会長等が、熊本県をはじめ自民党県支部連合会、公明党熊本県本部への要望活動を展開した結果、熊本県の他5自治体が支援制度を創設し、会員の支援へとつながった。熊本県等に対しては、持続可能な物流に資する経営環境改善対策の実施など、3項目の要望を(注1)を行った。

このうち、熊本県の「ホワイト物流支援事業」については、この要望内容が実現したものであり、価格転嫁円滑化協定についても、別途行った要望が実現し、令和5年12月19日、熊本県をはじめ、熊本県、国、経済団体、労働団体など当協会を含む16団体との協定締結となったところである。その他、県等の助成制度を活用し、熊本日新聞、くまもと経済などへ都合13回の広告を行い、一般消費者へ2024年問題、価格転嫁円滑化について積極的に周知を行った。

また、国に対しては全ト協とも連携し、自動車関係諸税の簡素化・軽減、特例措置の延長、高速道路料金の引下げ、物流基盤の整備などの要望を行った。

その他、総務関係では、トラック運送の社会的役割の周知などを目的にコロナ禍での「トラックの日」イベントとして、「ドライブインシアター」を実施し、令和6年能登半島地震発災に対して、4つの自治体からの要請を受け、支部と連携して緊急物資輸送協定に基づく対応を行った他、大規模災害発生等に備えた災害物流専門家研修を2日間に亘り行い、県内自治体も多数参加するなど、情報共有の機会創出に努めた。

交通・環境対策としては、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止に係る街頭キャンペーンや交通事故・労働災害防止大会を開催した他、事故防止用品の配布、トラックの森づくりとして、緑の募金を行うなど、交通・環境対策を推進した。

適正化事業対策では、安全性優良事業所（Gマーク）の拡大や総合評価がD・Eの事業者への巡回指導の強化や特別巡回指導等による輸送秩序の確立に努めた。

労働対策としては、2024年問題に係る改正改善基準告示説明会を熊本労働局、熊本運輸支局と連携し行った他、物流出前授業等の実施、会員事業所及び熊本学園大学と連携したサマースクールのほか、人材確保・労務管理セミナー、企業合同説明会、くまもとお仕事探検フェアの開催、くまもと産業復興エキスポへの出展など、労働力確保対策を推進した。

経営改善関係では、企業経営に関する各種セミナー・講習会の開催等経営基盤の強化を図りながら、精力的に各種事業活動に取り組んだところである。

このように、会員事業者の協力のもと、国内物流の大宗を担うトラック運送事業者として県民生活を守り、また、トラック運送業界の「社会的貢献」が正しく理解・評価され、社会的地位が向上するべくしっかりと各種の取組みを行った。

実施事業等の詳細については、次ページ以降のとおりである。

#### 「注1」【県ト協の主な要望事項】

1. 持続可能な物流に資する経営環境改善対策の実施
2. 適正取引等消費者・荷主対策の一層の強化
3. 交通渋滞のない道路・輸送環境の早急な整備

〔総務・交付金運営委員会〕

1. 最重点項目

(1) 貨物自動車運送事業法に係る「標準的な運賃」及び「荷主対策の深度化」の時限措置延長への対応及び燃料価格高騰に係る要望活動 **公益1-【1】-〈1〉**

①熊本県に対する陳情要望

期日：8月1日（火）

場所：熊本県庁5階審議会室

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、事務局長

（県）三輪商工労働部長、坂本健康福祉部総括審議員兼政策審議監、千田農林水産部長、亀崎土木部長、清田商工労働部政策審議監兼商工雇用創生局長、他

期日：11月14日（火）

場所：熊本県庁7階会議室

対応：（協会）会長、専務理事、常務理事、事務局長

（県）三輪商工労働部長、田浦課長、畑中審議員、服部審議員

②自民党県連に対する陳情要望

期日：8月1日（火）

場所：自民党県連2階会議室

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、事務局長

（県連）前川会長、藤川団長、松田幹事長、坂田総務会長、吉永政調会長

期日：11月13日（月）

場所：自民党県連2階会議室

対応：（協会）会長、専務理事、常務理事、事務局長

（県連）前川会長、松田幹事長、

③県内自治体に対する燃料価格高騰に係る支援措置要望

熊本市をはじめ、県内の全市町村に燃料価格高騰に係る支援の要望書を送付した。

結果、八代市、菊池市、合志市、大津町、苓北町からは所在する事業者に対する燃料費支援が行われた。

その後、熊本県により令和6年1月29日より、熊本県ホワイト物流推進支援事業が行われた。

④価格転嫁の円滑化に関する協定の締結

令和5年12月19日（火）、熊本県庁において、熊本県をはじめ、16の団体が参画し、中小企業・小規模事業者と農林業者における賃上げを実現するため、国、県、経済団体、労働団体が相互に連携・協力し、物価上昇分を適切に価格転嫁する気運を醸成することにより、サプライチェーン全体での共存共栄や、付加価値の向上を図り、県内中小企業者等の稼げる

力を高めることを目的とした価格転嫁の円滑化に関する協定が締結された。

⑤ 県選出国會議員に対する陳情要望

期日：令和5年12月7日（木）

場所：ホテルニューオータニ

対応：（協会）正副会長、女性部会竹下部長、専務理事、常務理事、事務局長

（國會議員）坂本哲志氏、金子恭之氏、木原稔氏、西野太亮氏、松村祥史氏（代理下四日市郁夫氏）、馬場成志氏（代理柴田啓介氏）、藤木眞也氏

(2) 「標準的な運賃」の活用等による適正なコスト収受等転嫁対策の推進 公益1-【1】-〈1〉

① 熊本日日新聞の別刷県政特集に、半5段カラー広告を掲載し、県民への周知を図った。

令和5年7月28日（金）掲載

② 熊本県の助成制度を活用し、熊本日日新聞に価格転嫁に関するモノクロ7段広告を掲載し、県民への周知を図った。令和5年9月9日（土）掲載

③ くまもと経済に、モノクロ広告を掲載し、県民への周知を図った。10月号掲載

④ 熊本県の助成制度を活用し、熊本日日新聞及びくまもと経済に、2024年問題及び価格転嫁推進に係るカラー広告を複数回に亘って掲載し、県民への周知を図った。

(ア) 2024年問題（熊本日日新聞）

- ・ 1回目 令和5年11月27日（月）7段カラー広告
- ・ 2回目 令和5年12月23日（土）5段カラー広告
- ・ 3回目 令和6年 1月27日（土）5段カラー広告
- ・ 4回目 令和6年 2月 9日（金）5段カラー広告

(イ) 2024年問題（くまもと経済）

- ・ 1回目 令和5年12月号
- ・ 2回目 令和6年 1月号
- ・ 3回目 令和6年 2月号

(ウ) 価格転嫁推進（熊本日日新聞）

- ・ 1回目 令和6年 1月 6日（土）15段カラー広告
- ・ 2回目 令和6年 1月10日（水）15段カラー広告
- ・ 3回目 令和6年 1月18日（木）15段カラー広告
- ・ 4回目 令和6年 1月26日（金）15段カラー広告

(エ) 価格転嫁推進（くまもと経済）

- ・ 1回目 令和6年 2月号

⑤ 荷主団体への文書発送

県内の荷主企業約3,000社に対し、価格交渉がしやすい環境となるよう、国の「物流革新に向けた政策パッケージ」に基づく商慣習の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容などについて、文書を送付し、注意喚起を行った。

なお、文書は熊本運輸支局長、熊本労働局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長の連名で、令和5年10月2日に発送。

⑥ 荷主団体である熊本県中小企業団体中央会が発行する「月刊中央会」8月号、1月号にカラー広告を全2回掲載し、荷主企業に対する周知を図った。

(3) 改正改善基準告示の周知並びに長時間労働の是正及び取引環境の改善等「2024年問題」への適切な対応について **公益1-【1】-〈1〉**

九州農政局、熊本県を始め、農林水産物関係団体等と2024年問題を始めとする業界の現状等について、意見交換等を行った。

①農水省、熊本県との農産物輸送に関する意見交換会

期日：令和5年6月13日（火）

場所：熊本県庁 会議室

対応：(協会) 常務理事、他

(国) 農水省、九州農政局

(県) 農林水産部流通アグリ課、商工振興金融課

②2024年問題に係る熊本県との意見交換会

期日：令和5年7月26日（水）

場所：熊ト協会議室

対応：(協会) 専務理事、常務理事、他

(県) 農林水産部流通アグリ課、商工振興金融課

③農産物輸送に係る関係機関連絡会議

期日：令和5年8月18日（金）

場所：熊本県庁 防災センター

対応：(協会) 専務理事、常務理事、他

(県) 農林水産部流通アグリ課、商工振興金融課

(国) 九州農政局

(他) 農林水産関係団体

④熊本県農林水産部主催セミナー（第1回）

期日：令和5年8月25日（金）

場所：ホテル熊本テルサ

対応：(協会) 下川会長、永井副会長、専務理事、他

(県) 農林水産部流通アグリ課他

(国) 九州農政局

(他) 農林水産関係団体

⑤熊本県農林水産部主催セミナー（第2回）

期日：令和5年12月19日（火）

場所：熊本県庁 地下会議室

対応：(協会) 下川会長、永井副会長、吉川理事、専務理事、他

(県) 農林水産部流通アグリ課他

(国) 九州農政局

(他) 農林水産関係団体、県内市町村

⑥荷主を含む、一般の方々への周知のための広報

第2回総務・交付金運営委員会で広告会社を選定し、理事会の承認のもと、「標準的な運賃」や「2024年問題」についてのテレビCMを放送するため、契約を行い、次のとおりテレ

ビCMを行った。

令和5年12月～令和6年2月までの3か月間放送（テレビCM52本を放送）

朝の県内民放4局ニュース番組で放送

（KKT13本、RKK13本、TKU13本、KAB13本）

また、人材確保対策として、会員事業所の若手ドライバーを起用し、若者向けのショートフィルムCM（90秒、15秒）を制作し、Youtubeを活用して、トラックドライバーの魅力について広報活動を行った。

#### ⑦メディア等の活用

トラック運送事業の現状を周知することを目的に、マスメディア、協会ホームページなどを活用し、広報活動を行った。

##### 1. ラジオ

###### ア RKK

- ・登下校インフォメーション 4月～6月
- ・みんなで交通安全「一旦停止」啓発キャンペーン 春（15本）、秋（15本）

###### イ 熊本シティFM

- ・FM79.1防災コミュニティパートナー 4月～2月（120本）
- ・FM79.1生読みインフォメーション（62回）

###### ウ エフエム熊本

- ・スマイルドライブキャンペーン 8月～9月（8本）

##### 2. 新聞・雑誌

###### ア 熊本日日新聞

- ・ 7月28日(金)掲載 2024県政特集への協賛広告 (広告)
- ・ 10月 9日(月)掲載 トラックの日について (広告)
- ・ 8月10日(木)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 8月16日(水)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 8月18日(金)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 8月21日(月)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 8月25日(金)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 11月30日(木)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 12月 4日(月)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 12月24日(日)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 12月25日(月)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 12月28日(木)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告 (広告)
- ・ 6月16日(金)掲載 通常総会開催 (掲載記事)
- ・ 6月21日(水)掲載 開新高校で物流出前授業 (掲載記事)
- ・ 6月27日(火)掲載 下川会長取材記事 (掲載記事)
- ・ 8月 2日(水)掲載 経営支援適正取引促進などを県に要望 (掲載記事)
- ・ 11月8日(水)掲載 改正改善基準告示等説明会 (掲載記事)

- ・ 12月 4日(月)掲載 熊本県警等からの感謝状贈呈 (掲載記事)
- ・ 12月20日(水)掲載 価格転嫁円滑化協定 (掲載記事)
- ・ 2月 5日(月)掲載 玉名会場企業合同説明会開催 (掲載記事)

#### イ 物流ニッポン

- ・ 5月 2日(火)掲載 春の全国交通安全運動名刺広告 (広告)
- ・ 7月18日(火)掲載 書中名刺広告 (広告)
- ・ 9月19日(火)掲載 秋の全国交通安全運動名刺広告 (広告)
- ・ 10月13日(金)掲載 全ト協事業者大会特集 (広告)
- ・ 1月 9日(火)掲載 2024新年特集名刺広告 (広告)
- ・ 2月20日(火)掲載 ロジスティクス最前線／九州・沖縄版 (広告)
- ・ 5月 2日(火)掲載 青年部会継運会通常総会開催 (掲載記事)
- ・ 6月30日(金)掲載 通常総会開催下川会長就任・陸災防富田支部長就任 (掲載記事)
- ・ 7月11日(火)掲載 開新高校出前授業 (掲載記事)
- ・ 8月 1日(火)掲載 熊本学園大学出前授業 (掲載記事)
- ・ 8月15日(火)掲載 下川会長就任 (表紙)、熊本県に対する要望活動 (掲載記事)
- ・ 9月19日(火)掲載 災害時支援体制自衛隊と意見交換 (掲載記事)
- ・ 10月20日(金)掲載 トラックの日 (ドライブインシアター) (掲載記事)
- ・ 11月24日(火)掲載 改善基準告示説明会開催 (掲載記事)
- ・ 12月15日(金)掲載 県警、自動車安全運転センターからの感謝状贈呈 (掲載記事)
- ・ 12月19日(火)掲載 熊本学園大学出前授業 (掲載記事)
- ・ 1月 9日(火)掲載 お仕事探検フェア出展 (掲載記事)
- ・ 1月12日(金)掲載 価格転嫁円滑化協定締結 (掲載記事)
- ・ 2月 6日(火)掲載 50周年記念式典、新春経営セミナー開催 (掲載記事)
- ・ 2月13日(火)掲載 有明高校出前授業、交通安全用品寄贈 (掲載記事)
- ・ 2月23日(金)掲載 災害物流専門家研修開催 (掲載記事)
- ・ 2月27日(火)掲載 求職者向け企業合同説明会開催 (掲載記事)
- ・ 3月12日(火)掲載 熊本県緑化推進委員会への寄付金贈呈 (掲載記事)
- ・ 3月15日(金)掲載 くまもと産業復興エキスポへの出展 (掲載記事)

#### ウ 輸送経済新聞

- ・ 7月19日(水)掲載 暑中名刺広告 (広告)
- ・ 8月23日(水)掲載 西日本ブロック特集号名刺広告 (広告)
- ・ 10月4日(水)掲載 全ト協事業者大会特集名刺広告 (広告)
- ・ 2月 6日(火)掲載 50周年記念式典開催 (掲載記事)

#### エ くまもと経済

- ・ 12月号掲載 物流の2024年問題 (広告)
- ・ 1月号掲載 物流の2024年問題 (広告)
- ・ 2月号掲載 物流の2024年問題 (広告)
- ・ 2月号掲載 運賃等の価格転嫁について (広告)
- ・ 5月号掲載 宇土市新庁舎で記念植樹式 (掲載記事)
- ・ 7月号掲載 通常総会開催 (掲載記事)

- ・ 7月号掲載 トラックドライバー・コンテスト（掲載記事）
- ・ 8月号掲載 開新高校で物流出前授業（掲載記事）
- ・ 9月号掲載 熊本学園大学で物流出前授業（掲載記事）
- ・ 9月号掲載 経営支援適正取引促進などを県に要望（掲載記事）
- ・ 10月号掲載 表紙の人（掲載記事）
- ・ 11月号掲載 交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
- ・ 11月号掲載 トラックの日（ドライブインシアター）（掲載記事）
- ・ 12月号掲載 物流の2024年問題特集（掲載記事）
- ・ 12月号掲載 改正改善基準告示説明会（掲載記事）
- ・ 12月号掲載 九州学院高校で物流出前授業（掲載記事）
- ・ 12月号掲載 環境クリーンキャンペーン（掲載記事）
- ・ 1月号掲載 熊本展望2024トップに聞く熊本の明日（掲載記事）
- ・ 1月号掲載 熊本国府高校・松橋高校で物流出前授業（掲載記事）
- ・ 1月号掲載 交通事故防止で県警等から感謝状贈呈（掲載記事）
- ・ 2月号掲載 価格転嫁円滑化協定（掲載記事）
- ・ 2月号掲載 お仕事探検フェア出展（掲載記事）
- ・ 2月号掲載 熊本学園大学出前授業（掲載記事）
- ・ 3月号掲載 リーダーズ熊本2024（掲載記事）
- ・ 3月号掲載 社団法人設立50周年記念式典及び経営セミナー（掲載記事）
- ・ 3月号掲載 県内2会場での企業合同説明会（掲載記事）
- ・ 3月号掲載 有明高校で物流出前授業（掲載記事）
- ・ 3月号掲載 災害物流専門家育成の研修会開催（掲載記事）
- ・ 3月号掲載 三井住友海上火災保険と包括連携協定（掲載記事）

#### カ リビング熊本記事広告

- ・ 5月20日(土)掲載 春の全国交通安全運動 名刺広告（広告）
- ・ 9月18日(月)掲載 トラックの日イベント告知（広告）
- ・ 10月9日(土)掲載 トラックの日のPR（広告）

#### キ 月刊中央会

- ・ 8月号掲載 燃料サーチャージ、適正運賃料金のお願い（広告）
- ・ 1月号掲載 価格転嫁対策について周知（広告）

#### ク パコラ

- ・ 9月1日(金)掲載 トラックの日イベント告知（広告）

### 3. Web広告

Web広告を活用した飲酒運転根絶のための啓発キャンペーンを熊本県警察と連携して次の期間実施した。(Yahoo、googleに令和5年12月8日～令和6年1月21日まで広告掲出)

(4) 大規模自然災害発生時等に備えた災害物流専門家の育成等防災マネジメントの普及拡大並びに各種防災訓練の参加対応等 **公益1-【3】**

協定を締結した各自治体が行う防災会議及び防災訓練について、指定地方公共機関として各支部と連携を図り、積極的に防災会議等に参加した。

①熊本県防災会議等合同会議

期日：令和5年5月23日（火）

場所：ホテル熊本テルサ

対応：専務理事

②八代市防災会議及び国民保護協議会

期日：令和5年5月30日（火）

場所：八代市役所

対応：城南支部事務局長

③熊本県・熊本市連絡調整会議（物資輸送関係）

期日：令和5年5月30日（火）

場所：熊本県庁 防災センター

対応：専務理事、事務局長

④熊本市防災会議

期日：令和5年6月1日（木）

場所：市民会館 シアーズホーム夢ホール

対応：常務理事

⑤自衛隊、自治体との救援物資輸送に係る検討会

期日：令和5年6月26日（月）

場所：自衛隊西部方面隊

対応：専務理事、事務局長

⑥八代市防災訓練検討会議（第1回）

期日：令和5年7月18日（火）

場所：八代市役所

対応：城南支部事務局長

⑦荒尾市防災対策会議（第1回）

期日：令和5年7月27日（木）

場所：荒尾市役所

対応：玉名支部事務局

⑧水俣市防災フェスタ調整会議（第1回）

期日：令和5年8月21日（月）

場所：水俣市役所

対応：城南支部事務局長

⑨八代市防災訓練検討会議（第2回）

期日：令和5年8月30日（水）

場所：八代市役所

対応：城南支部事務局長

⑩自衛隊部外協同研究

期日：令和5年9月4日（月）

場所：自衛隊西部方面隊

対応：専務理事、事務局長

⑪八代市防災訓練検討会議（第3回）

期日：令和5年9月14日（木）

場所：八代市役所

対応：城南支部事務局長

⑫水俣市防災フェスタ調整会議（第2回）

期日：令和5年9月19日（火）

場所：水俣市役所

対応：城南支部事務局長

⑬荒尾市防災対策会議（第2回）

期日：令和5年9月21日（木）

場所：荒尾市役所

対応：玉名支部事務局

⑭八代市総合防災訓練

期日：令和5年10月1日（日）

場所：八代市球磨川河川敷

対応：城南支部会員事業者及び事務局

⑮水俣市防災フェスタ

期日：令和5年11月12日（日）

場所：水俣市エコパーク水俣

対応：城南支部会員事業者及び事務局

⑯荒尾市総合防災訓練

期日：令和5年11月12日（日）

場所：荒尾市内

対応：玉名支部会員事業者及び事務局

⑰熊本市震災対処訓練

期日：令和5年11月12日（日）

場所：熊本市役所及び市内

対応：会員事業者及び熊ト協事務局

⑱令和6年能登半島地震に係る緊急物資輸送対応

災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本市、人吉市からの物資輸送要請を受け、登録会員事業所の車両により緊急物資輸送対応を行った。

熊本市分 期日：令和6年1月20日（土）、26日（金）

内容：10トン車2両が石川県七尾市へ輸送、4トン車2両は物資の集荷対応

人吉市分 期日：令和6年1月26日（金）

内容：4トン車1両が石川県輪島市へ輸送

八代市分 期日：令和6年3月13日（水）～3月27日（水）

内容：10トン車5両が石川県金沢市へ輸送  
氷川町分 期日：令和6年3月27日（水）～3月29日（金）

内容：10トン車2両が石川県金沢市へ輸送

⑱災害物流専門家研修（埼玉県トラック協会向け）

熊本地震や令和2年7月豪雨に係る緊急物資輸送の状況や自治体との対応等について、情報共有するため専門講師を招へいし、研修会を行った。

期日：令和5年10月26日（木）

場所：熊ト協会議室

受講者：延12名（一般社団法人埼玉県トラック協会役員及び事務局）

講師：（公社）熊本県トラック協会 前専務理事 吉住 潔氏

⑳災害物流専門家研修（総合型2日間）

自然災害や特定家畜伝染病の防疫活動に係る緊急物資輸送に対応できる「災害物流専門家」を育成するとともに、県内自治体にも緊急物資輸送に係る情報共有を図るため、専門講師を招へいし、研修会を行った。

期日：令和6年2月7日（水）～8日（木）

場所：熊ト協会議室

受講者：延57名（会員企業、事務局、県内自治体）

講師：（株）NX総合研究所 ゼネラルマネージャー 高橋 巨樹氏  
コンサルタント 川目 俊夫氏

（公社）熊本県トラック協会 前専務理事 吉住 潔氏

（5）新技術を活用したDXの推進 **公益1、法人会計**

協会のDX推進のため、会議用タブレット端末を導入するとともに、協会基幹システムなどのセキュリティ向上と円滑な活用を図るため、識見者の意見を基にシステムのセキュリティ向上、見直しを行うとともに、来協者のためのWi-Fiの導入等を行った。

また、併せて基幹システム導入のために、先進県トラック協会を理事、アドバイザーと訪問し、基幹システムの構築状況確認及び広島支部の業務視察を行った。

期日：令和5年12月21日（木）～22日（金）

場所：公益社団法人広島県トラック協会

出席者：広島県ト協（2名、事業者1名）

熊本県ト協（本田理事、井上専務理事、アドバイザー森高弘純氏、事務局2名）

## 2. 重点項目

（1）トラック日の実施について **公益1-【1】-〈2〉**

コロナ禍等で出かける機会が少なくなった子供たちに元気で笑顔になってもらうためドライブインシアター形式でのイベントを行うとともに検討会議を行った。

日時：令和5年10月7日（土）18時30分～20時30分（予定）

場所：熊本港特設駐車場

来場者：車両70台予定

対応者：協会長及び実行委員、協会役職員等 30人程度

また、「トラックの日」（10月9日）のPRとドライブインシアターの実施募集について、  
広告掲載を次のとおり行った。

期日：9月9日（土）、9月23日（土）熊本リビング新聞・・・半5段カラー広告

10月9日（月）熊本日日新聞朝刊掲載・・・半5段カラー広告

期日：第1回「トラックの日」検討委員会 8月21日（月）開催

## (2) 広報誌等による情報提供 他1-4

月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し、最新情報の共有、セミナー等事業の実施に係る周知、これらの実施報告等について会員企業等に対してタイムリーに情報提供を行った。

また、広報誌、ホームページ等の媒体に広告の掲載を行うことにより、会員企業に対し、有益な情報提供を行うとともに、持続的な公益事業等を行うための事業収入の確保を図った。

4月号（No.487）～9月号（No.492）発刊 広報誌掲載広告14社、折込み広告5社7件

## (3) 各種表彰関係 他1-5

### ①永年継続企業表彰

被表彰会員企業 5社

### ②国土交通大臣表彰

被表彰者 3名

### ③九州運輸局自動車関係功労者表彰

ア事業役員表彰

被表彰者 3名

イ従業員部門表彰

被表彰者 1名

ウ運転者部門表彰

被表彰者 16名

### ④九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰（第1回表彰）

期日：令和5年9月5日（火）

場所：熊本運輸支局

被表彰会員企業 6社

九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰（第2回表彰）

期日：令和6年3月13日（水）

場所：熊本運輸支局

被表彰会員企業 4社

### ⑤九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰（特別表彰）

被表彰会員企業 1社

### ⑥九州運輸局熊本運輸支局運行管理者表彰

期日：令和5年10月19日（木）

場所：熊本運輸支局

被表彰者者 2名

### ⑦全ト協優秀運転者顕彰

被表彰者 55名（金十字7名、銀十字48名）

⑧全ト協表彰規程による表彰

被表彰者 28名（役員6名、従業員5名、運転者17名）

⑨全ト協 正しい運転・明るい輸送運動表彰

被表彰事業所 3事業所

(4) 新春賀詞交歓会（兼社団法人設立50周年記念式典）の開催 他

当協会が社団法人設立50周年を迎えることから、新春賀詞交歓会と併せて来賓を招き、記念式典を開催した。

期日：令和6年1月26日（金）

場所：ホテル日航熊本

参加者：229名

(5) 協会事務局の強化及び業務の見直し 法人会計

事務局では、九州各県事務局担当者会議に出席し、業務の改善などの協議を行うとともに、外部の各種セミナー等に出席し、研鑽を行った。

(6) 支部による共済代理店事業の実施 収3

7支部では、共済代理店として共済掛金の集金業務等事業を行った。

### 3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 高速道路通行料金の割引の拡充及び重要物流道路等広域道路ネットワークの整備など使いやす  
い道路の実現 公益1

① 大口・多頻度割引の実質50%の割引への拡充

・大口・多頻度割引について、一定額以上利用の場合に、30,000円以下の部分も含め割引額が割引対象額の50%となるよう要望を行った。その結果、令和5年度末（令和6年3月末）で期限を迎える最大割引率50%の拡充措置について、令和5年度補正予算において約78億円が措置され、ETC2.0を利用する自動車運送事業者を対象とした大口・多頻度割引の最大割引率50%の措置が令和6年度末（令和7年3月末）まで延長されることとなった。

② 高速道路料金の更なる割引の拡充

- ・NEXCO3社等における高速道路料金の引下げや割引の拡充に向けて、3つの料金水準（普通区間、大都市近郊区間、海峡部等特別区間）の引下げ、渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定等について、要望活動等を行った。
- ・3つの料金水準については、国土交通省より「新たな高速道路料金に関する基本方針」の改定が公表され（令和5年12月22日）、平成26年に導入された3つの料金水準は継続されることとなった。

### ③ 「重要物流道路」の追加指定や機能強化の推進

・重要物流道路の更なる拡充や機能強化の推進に向け、国土交通省道路局長に対して、22区間（事業区間7区間、供用区間15区間）の追加指定、および指定区間の早期完成・供用について要望活動を行った。（令和6年1月22日）

### ④ 高速道路等ネットワークの積極的な整備推進及びミッシングリンクの解消

・災害発生時の防災ネットワークの確保、慢性的な渋滞の緩和、物流効率化を図るためミッシングリンク解消のための道路整備の要望を行った。

### ⑤ 高速道路における暫定2車線の4車線化など安全対策及び渋滞対策の推進

・高速道路供用区間のうち約3割が暫定2車線区間となっていることから、事故防止や高速道路の持つ高速性能を確保するため、暫定2車線区間の早期の4車線化が図られるよう要望を行った。

・要望にあたっては全国道路利用者会議等と連携した要望活動を行った。

## (2) 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現 法人会計

### ① 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

要望活動については、政府与党の国会議員に対し積極的に陳情活動を展開するとともに、自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会（10月30日）、自由民主党トラック輸送振興議員連盟総会（11月7日）、公明党トラック議員懇話会（11月8日）、自由民主党自動車議員連盟自動車政策懇談会（12月1日）において強力に要望した。

### ② 政府において令和5年度税制改正大綱を令和5年12月22日に閣議決定した。トラック運送業界に関係する主な内容は以下のとおりであった。

ア 物流総合効率化法に基づく特例措置の延長について、適用要件を見直した上で、適用期限が2年延長された。

イ 少額資産即時償却の延長について、適用要件を見直した上で、適用期限が2年延長された。

ウ 地方拠点強化税制の延長について、適用要件を見直した上で、適用期限が2年延長された。

エ 中小企業向け賃上げ促進税制の延長について、措置内容を見直し、最大控除率が現行の40%から45%に引き上げるとともに、適用期限が3年延長された。

また新たに繰越控除制度を創設し、控除限度上限額を5年間繰越できることとされた。

## (3) 環境・SDGs対策の推進 公益1

### ① 「環境ビジョン2030」の推進

・環境基本行動計画「環境ビジョン2030」を踏まえ、次世代自動車の導入支援、輸送の効率化の推進、アイドリングストップの徹底等脱炭素化に向けた環境啓発活動を推進した。

### ② SDGs（持続可能な開発目標）への対応

・「環境ビジョン2030」の行動メニューとSDGsの関連性の理解促進を図りつつSDGs

達成に向けた取組を推進するため、公益社団法人全日本トラック協会の助成金を活用し、タブレットを導入するとともに、当協会として、熊本県SDGs登録事業者（第6期）に認定された。併せて、SDGsに関する取組等を進めるため、三井住友海上火災保険株式会社熊本支店と包括連携協定の締結を行った。

日時：令和6年2月1日（木）13時30分～

場所：公益社団法人熊本県トラック協会 研修センター会議室

#### (4) 大規模自然災害発生時における緊急輸送体制の確立 **公益1-【3】**

##### ①大規模自然災害発生時における緊急物資輸送体制の確立及び迅速な対応

内閣府及び国土交通省と指定公共機関7社との緊急・救援物資輸送に係る会議を開催し、緊急・救援物資輸送体制の更なる連携強化を図った。

- ・緊急時の通信体制を整備するため、各トラック協会と衛星携帯電話の通信テストを実施した。
- ・令和6年能登半島地震に際し、以下を実施した。

ア) プッシュ型輸送に係る緊急支援物資輸送車両の手配を実施

イ) 業務支援のため石川県トラック協会へ職員の派遣

ウ) 内閣府災害対策本部（C4:物資調整担当）へ職員の派遣

- ・国土交通省大臣官房参事官（運輸安全防災）主催の勉強会へ講師派遣した。
- ・愛媛県トラック協会主催の物流専門家打合せ会（Web）へ講師派遣した。
- ・内閣府防災主催の衛星通信装置設置等訓練（有明の丘基幹的広域防災拠点）へ参加した。
- ・緊急物資輸送車両への給油施設のネットワーク化の拡充を図るため、新たに58か所を整備し、全国で943か所となった。

##### ②大規模自然災害発生時に備えた災害物流専門家の育成など防災マネジメントの普及拡大

災害物流専門家研修を29協会で開催。483名が受講し、研修修了者に修了証を交付した。

##### ③高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の発症が確認された地域において、地方自治体等からの防疫資機材等の輸送依頼への適切な対応が行えるよう、関係のトラック協会との情報共有を行った。

#### (5) 公益社団法人全日本トラック協会が主催した第28回全国トラック運送事業者大会に参加し、次年度開催熊本県大会に向けて、情報収集を行うなど準備を進めるとともに、全ト協、九ト協とも開催に向け、打合せ会議を行った。

日時：令和5年10月4日（水）13時00分～

場所：札幌市パークホテル

出席者：28名

## [交通・環境対策委員会]

### 1. 最重点項目

#### (1) 交通事故防止対策の推進

##### ① 無事故チャレンジ運動の実施 公益2-【5】

令和5年10月1日(日)～令和6年1月8日(月)までの100日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の1つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加187事業所から、表彰基準を満たした29事業所を三者連名表彰(熊本運輸支局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長)、139事業所を協会長表彰として表彰した。(計168事業所)

##### ② 交通事故・労働災害防止大会の実施 公益2-【5】

年末の輸送繁忙期にかけて、事業用トラックによる交通死亡事故や労働災害防止対策の推進を目的に、交通事故防止及び労働災害防止研修会を実施した。

日 時：令和5年10月18日(水) 13時30分～16時00分

場 所：ホテル熊本テルサ たい樹

参加者：54社60名

講演Ⅰ：「安全運転研修会～交差点事故及び飲酒運転事故防止対策～」

講 師：東京海上ディーアール(株) 運輸・モビリティ本部 調査役 青木俊憲氏

講演Ⅱ：「労働災害防止対策について」

講 師：熊本労働局健康安全課 安全専門官 吉田 健 氏

##### ③ 交通安全街頭キャンペーンの実施 公益2-【5】

全国交通安全運動の実施に併せて、熊本県警協力のもと、南九州交通共済協同組合及び自動車安全運転センター熊本県事務所と合同で、熊本県内の交通事故が多発している交差点において、トラックドライバーや一般ドライバーに対して、安全運転を呼びかけ、交通事故防止を図るため街頭キャンペーンを実施した。

ア 春の全国交通安全運動

日 時：令和5年 5月18日(木) ※天候不良により中止

場 所：益城熊本空港IC西交差点(熊本市東区)

イ 秋の全国交通安全運動

日 時：令和5年 9月26日(火) 15時00分～15時30分

場 所：熊本市市民病院前交差点(熊本市東区)

参加者：24名

##### ④ 飲酒運転事故の根絶に向けた取り組み

飲酒運転による交通事故は、反社会的行為であるとともに、社会的信頼性を失墜させることから、熊本県警察と連携し、飲酒運転防止啓発ポスターを全会員に配布することにより、飲酒運転根絶の啓発活動を行った。

⑤ 第43回熊本県トラックドライバー・コンテストの実施 公益2-【5】

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進と環境負荷の低減に寄与することを目的に、第1部（全国大会選抜競技）及び第2部（県大会チャレンジ競技）、第3部（ステップアップ競技）の3部構成で実施した。

また、県大会の第1部の中型車部門、大型車部門、けん引車部門の選手は、令和5年10月21日（土）～23日（月）、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において開催された全国大会に出場した。（各部門入賞者はなかった。）

開催日：令和5年7月9日（日）

場 所：八代ドライビングスクール

参加者：18事業所38名

【第1部】

中型車部門18名、大型車部門7名、けん引車部門7名、女性部門1名

【第2部】

大型車部門2名、大型車部門1名、ダンプ部門2名

【部門別優勝者】

部 門 別	所 属	選 手 名
第1部		
中型車部門	日本通運(株)熊本支店熊本中央事業所	林田 拓海
大型車部門	日通熊本トラック(株)	永田 卓
けん引車部門	南九州センコー(株)宇土営業所	尾方 大輔
女性部門	CarryMAMA(株)	池田 桃佳
第2部		
中型車部門	(有)旭志運送	永汐 彩
大型車部門	城東運輸倉庫(株)	久富 一人
ダンプ部門	中山砂利(株)	平野 公宏
特別賞		
トラック協会長特別賞	日本郵便輸送(株)熊本営業所	岩田 郁

(敬称略)

⑥ 事故防止用品の作成 公益2-【1】-〈4〉

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、教育事務所長宛てに新入学児童の交通事故防止を目的として、令和6年2月から3月にかけて、交通事故防止関連用品として、メッシュケース（17,000枚）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び熊本県交通安全川柳標語入りカレンダーを1,600部配布した。

なお、年末年始に、飲酒運転事故が発生したため、全会員事業者に飲酒運転根絶ポスターを配布し、飲酒運転撲滅に向けて意識啓発を行った。

⑦ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（2023年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死者数	負傷者数	飲酒運転
大型貨物	37（-7）	0（-1）	49（-13）	1（+1）
中型貨物	16（+1）	1（±0）	19（+1）	0（-1）
準中型貨物	14（+1）	0（±0）	21（+5）	0（±0）
普通貨物	1（±0）	0（±0）	1（-1）	0（±0）
合計	68（-5）	1（-1）	90（-8）	1（±0）

（ ）内は、前年対比

【目標】

- 発生件数 60件以下
- 死者数 0人
- 負傷者数 80人以下
- 飲酒運転 0件

※今年度の目標は達成できなかったが、来年度も引き続き、飲酒運転を含めた交通事故防止対策の徹底強化を行う。

(2) 安全教育の普及促進

① ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知 **公益2-【2】-〈6〉**

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研修所における安全教育訓練について、広報紙及びホームページ等で普及促進を図った。

参加者：延べ6社14名参加

② 安全運転研修会の実施 **公益2-【2】-〈6〉**

初任運転者等教育の研修会を福岡県おんが自動車学校、八代ドライビングスクールで開催した。

また、交通事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的に、ドライバー等を対象とした研修会を八代ドライビングスクールで開催した。

ア 福岡県おんが自動車

開催期間及び参加人員（2日コース 一般・初任運転者、指導監督者研修）

参加者：延べ7社19名

イ 八代ドライビングスクール

開催期間及び参加人員（2日コース 一般・初任運転者、指導監督者研修）

参加者：延べ14社23名

ウ 開催期間及び参加人員（1日コース 省燃費等・安全運転研修）

参加者：延べ34社57名

③ 交通事故統計の情報提供 **公益2-【1】-〈1〉**

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう事業用トラックの交通事故統計（熊本県警察資料）を「トラック広報くまもと」に掲載した。

#### ④ 各種交通安全運動の実施 **公益2-【5】**

各交通安全運動への積極的な参加を周知徹底するため、交通安全懸垂幕の掲示やトラック広報くまもとへ掲載するなど、各種交通安全キャンペーンに取り組んだ。

##### ア 春の全国交通安全運動

令和5年 5月11日（木）～令和5年 5月20日（土）

##### イ 秋の全国交通安全運動

令和5年 9月21日（木）～令和5年 9月30日（土）

##### ウ 正しい運転・明るい輸送運動

令和5年11月16日（木）～令和6年 1月10日（水）

##### エ 年末年始の輸送等安全総点検

令和5年12月10日（日）～令和6年 1月10日（水）

##### オ 年末年始の交通事故防止運動

令和5年12月21日（木）～令和6年 1月 3日（水）

## 2. 重点項目

### (1) 環境クリーンキャンペーンの実施 **公益4-【1】-ア**

「トラックの日」の関連事業として、10月を「環境月間」と定め、令和5年10月14日（土）を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、令和5年10月10日（火）～10月22日（日）にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動を行った。（12支部956名参加）。

### (2) 「トラックの森」づくり緑化推進事業 **公益4-【1】-ウ**

CO<sub>2</sub>の削減に寄与することを目的に、「トラックの森」づくり緑化推進事業に取り組みとして、森林の整備や地域の緑化による森林づくりを推進する「公益社団法人熊本県緑化推進委員会」に募金活動を行った。

また、平成26年1月に旧弓ヶ浜荘跡地（上天草市大矢野町）にサクラ、モミジ、ツツジ等の植樹後に繁茂した雑草などの下草刈りを令和5年9月15日（金）に行った。

### (3) 各種助成事業

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等をトラック広報くまもとで周知した。

#### ① ドライブレコーダー機器導入促進助成 **公益2-【2】-（4）**

30社 78台 1,310千円

#### ② 安全装置等導入促進助成 **公益2-【2】-（2）**

63社 118台 3,358千円

#### ③ アルコール検知器助成 **公益2-【2】-（1）**

28社 33台 762千円

- ④ 低公害車導入促進助成(CNG車、ハイブリッド車) **公益4-【2】-〈1〉**

1社 2台 192千円

- ⑤ グリーン経営認証取得助成 **公益4-【2】-〈2〉**

23事業所 1,002千円

- ⑥ 自動点呼機器導入助成 **公益4-【2】**

5事業所 500千円

- ⑦ ポスト新長期車両に対する融資推薦 **公益4-【3】**

環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。(推薦件数10件)

- (4) 渋滞箇所及び駐車スペースや休憩・休息施設の整備・拡充 **公益1-【5】**

労働環境改善による安全運転確保のために、渋滞箇所の改善や十分な休憩を確保できる施設として、SA・PA、道の駅における大型車、または、特大車用の駐車スペースや、休憩・休息施設となる建屋内設備の整備・拡充について、会員事業者の意見を踏まえながら、全ト協及び関係機関と連携して、働きかけを行った。

- (5) 都市計画変更等に伴う荷さばき施設設置の対応 **公益1-【5】**

熊本市駐車場適正配置検討委員会に参画し、都市計画変更に伴う駐車場配置等の適正化に向けた附置義務条例改正等の施策の推進に伴い、輸送効率の向上及び労働環境の改善による過労運転防止を目的とした荷さばき施設の設置に向けた対応の取り組みを行った。

- (6) アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託し、会員事業者からの相談・要望に対応するため、相談窓口を設置したが、相談実績はなかった。  
(相談件数：法律1件)

### 3. 全ト協と連携して行った項目

- (1) 事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析及び事故防止対策の啓発 **公益2-【1】**

「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標達成に向けて、全ト協と連携し、事故分析結果に基づく、より実効性のあるセミナーを通じて事故防止対策の推進を図った。

日時：令和5年12月6日(水) 13時30分～16時30分

場所：熊本県トラック協会 研修センター

参加者：11事業所13名

実施内容：「事業用トラックにおける事故の傾向と防止対策」

講師：SOMPOリスクマネジメント(株)シニアコンサルタント 土谷 隆司氏

- (2) 「重要物流道路」の追加指定や機能強化の推進 **公益1-【5】**

大型トラックが特殊車両通行許可不要でスムーズに走行できる環境の実現に向けて、重要物流道路の追加指定及び指定された区間の道路整備が早期完成・供用されるよう全ト協が行う国

土交通省等に対する要望活動に全ト協と連携し取り組んだ。

(3) 駐車問題見直しへの対応 **公益1-【5】**

貨物集配中の事業用トラックに係る駐車規制の見直しに伴う諸課題について、情報収集に努め、必要に応じ、改善に向けた関係機関への働きかけを全ト協と連携し取り組んだ。

## [経営改善委員会]

### 1. 最重点項目

#### (1) 経営基盤強化対策の推進 公益1-【5】-〈1〉-ウ

荷主企業と会員事業者が、トラック運送業界を取り巻く環境や当面する課題などを共有し、輸送の効率化と高度化・多様化を求める荷主ニーズに応え、より良い輸送サービスを提供するために「新春経営セミナー」を社団法人設立50周年記念式典・新春賀詞交換会と併せて開催した。

日 時：令和6年1月26日（金）15：00～

場 所：ホテル日航熊本「阿蘇」

参加者：127名（会員110名、荷主団体等17名、）

講演Ⅰ：「我が国の物流の革新に向けた取組みの動向」

国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課  
課長補佐 運崎 彩香 氏

講演Ⅱ：「2024年 日本の政治と経済はどう動く」

ジャーナリスト 与良 正男 氏

#### (2) 運送原価管理に基づく適正運賃・料金収受の推進 公益1-【5】-〈1〉-カ

##### ① 運送経営改善セミナーの開催

持続可能な運送事業に資するため、人材が集まる魅力的な業界の実現に向けた業界内の意識啓発を目的としてセミナーを開催した。

日 時：令和6年2月21日（木）14：00～16：00

場 所：(公社) 熊本県トラック協会 研修センター

参加者：25名

講 師：税理士法人K・T・TWO 代表 佐藤 敏郎 氏（公認会計士・税理士）

内 容：過去3年間の熊本県版経営分析に加え、直近の燃料価格、物価価格から財務データをシュミレーションし、インボイスへの対応やコスト上昇局面における対策等

##### ② 「標準的な運賃」の活用に向けた積極的な周知

「標準的な運賃」「燃料サーチャージ」「改善基準告示」について荷主企業等に対して理解いただくため、会員事業者が運賃交渉に、実効性のある活用に向けた、役立つメモ付きのパンフレットを配布した。

##### ③ 「標準的な運賃」活用セミナーの開催

標準的な運賃と自社原価の関連を踏まえた交渉方法など、標準的な運賃の活用によって適正運賃の収受につながる「標準的な運賃」活用セミナーを開催した。

日 時：令和5年10月20日（金）13：30～16：30

場 所：熊本県トラック協会 研修センター会議室

参加者：22社33名

内 容：「標準的な運賃」告示の概要・届出、「標準的な運賃」を踏まえた原価計算の活用  
(改正標準運送約款を踏まえた契約の見直し事例、取引条件見直し交渉の成功事例、  
運賃交渉のポイントなど)、原価計算を反映した運行形態別運賃の考え方

講 師：全ト協 専任講師 近代経営システム 代表 森高 弘純氏

## 2. 重点項目

### (1) 事業後継者等の人材育成 公益1-【5】-〈1〉-イ

ドライバーなど、人材の確保が難しい時代に、現在雇用されている社員の方々の満足度向上に繋げながら、社員個人の資質向上と運送業界の次代を担う人材の育成と定着を目的として、熊本職業能力開発センターの生産性向上支援訓練を利用し、専門の講師による人材育成セミナーを開催した。

① 日 時：令和5年11月29日（水）9：30～16：30

内 容：「DX人材育成の進め方」

講 師：株式会社日本能率協会コンサルティング

デジタルイノベーション事業本部

シニア・コンサルタント 松本 賢治 氏

② 日 時：令和5年12月4日（月）9：30～16：30

内 容：「従業員満足度の向上」

講 師：(株)おがわコーポレーション

企画担当研修講師 小川 和広 氏

③ 日 時：令和5年12月11日（月）9：30～16：30

内 容：「組織力強化のための管理」

講 師：(株)日本能率協会コンサルティング

チーフコンサルタント 小河原 光司 氏

場 所：熊本県トラック協会 研修センター

参加者：延べ9名（3名、3名、3名）

### (2) 自営転換の推進 公益1-【5】-〈2〉-ア

営業用トラックによる輸送効率化を促すため、熊ト協ホームページに会員事業者の企業情報などを掲載・情報提供を行い、自家用トラックで輸送を行っている一般企業等に対して自営転換の推進を図った。  
(登録事業者数 338社)

### (3) アドバイザー制度の活用 他1

会員事業者の適正な企業経営を図ることを目的に、専門のアドバイザーに業務を委託し、会員からの法律、経営及び労務に関する各種相談事案に対して速やかに対応を図った。

(相談件数 法律1件)

### (4) 金融対策等の支援 他1-2

会員事業者の事業施設やポスト新長期規制適合車両の導入などを推進するため、近代化基金による融資の推薦とその利子補給を行った。(推薦件数10件)

### 3. 全ト協と連携して行った項目

#### (1) 燃料高騰対策等の推進 **公益1**

##### ① 燃料高騰対策並びに燃料サーチャージ導入の促進

価格転嫁を積極的に促進するため、全ト協や行政機関等と連携を図り、燃料サーチャージガイドライン及び下請・荷主適正取引推進ガイドラインの周知を適宜行った。

##### ② 自家用燃料供給施設整備支援助成事業 **公益1-【3】**

運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。(3社)

##### ③ 石油製品価格動向調査

石油製品価格の動向を調査するとともに、石油製品等の需給動向や価格の変動要因の分析について、毎月広報誌を通じて情報提供を行った。

#### (2) IT化の推進並びに情報セキュリティ対策の対応 **公益1**

中小トラック運送事業者における情報化推進による生産性の向上、「データ経営」による見える化の実現を支援するため、IT機器及びシステムの活用事例を紹介するセミナーを全ト協と連携し開催した。

日 時：令和5年11月10日(金) 13時30分～16時00分

場 所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参加者：9名

講 師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏

#### (3) 経営分析及び個別企業診断等の活用 **公益1-【5】-〈1〉-カ**

中小トラック運送事業者の経営実態を把握し、業界の指標となる経営分析報告書を作成するとともに、個別の企業診断を行い、自社の経営状態などを把握し経営改善に繋がるよう利用促進を図った。(個別企業診断希望 17社)

#### (4) 中小企業大学校の講座受講促進 **他1-1**

優秀な管理者等の人材を育成し、トラック運送事業者の経営基盤の一層の向上を図ることを目的に、中小企業大学校の講座受講について促進した。(申込件数9名 事業費 393千円)

#### (5) 中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査 **他1**

引き続き、信用保険法に基づく業種指定を受けるため、事業者の輸送量等の調査を行った。

(21社、年4回)

## 〔適正化事業委員会〕

### 1. 最重点項目

(1) 改善基準告示（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）改正等に係る対応

- ① 支部毎の改善基準告示改正に伴う説明会の開催 **公益1-【5】-〈1〉-（カ）**  
令和6年度のトラックドライバーの時間外労働上限規制の適用に併せて改正が行われる改善基準告示について、支部単位で説明会を開催し、会員事業者の理解促進に努めた。

ア 支部毎の説明会の開催状況

①鹿本支部	：令和5年 8月22日（火）	18社	22名参加
②熊本東支部	：令和5年 8月23日（水）	22社	34名参加
③城南支部	：令和5年 9月 2日（土）	27社	36名参加
④玉名支部	：令和5年 9月 5日（火）	25社	31名参加
⑤阿蘇支部	：令和5年 9月 6日（水）	14社	16名参加
⑥熊本北支部・熊本南支部（合同開催）			
	：令和5年 9月15日（金）	25社	40名参加
⑦天草支部	：令和5年 9月22日（金）	34社	43名参加
⑧人吉球磨支部	：令和5年10月16日（月）	10社	14名参加
⑨宇城支部	：令和5年10月26日（木）	25社	29名参加
⑩熊本中支部	：令和5年10月31日（火）	11社	15名参加
⑪県ト協本部	：令和5年11月 7日（火）	101社	121名参加
⑫菊池支部	：令和5年12月 8日（金）	23社	29名参加

- ② 「標準的な運賃」の告示制度の積極的な周知 **公益1-【5】-〈1〉-（カ）**

改正貨物自動車運送事業法に基づく「標準的な運賃」の活用状況の調査を行い、荷主との交渉状況等の実態を把握し、交渉時の成功事例等の情報共有に努め、より一層の会員各社の運賃交渉の活性化に向けた意識啓発を行い、実効性ある活用に向けた普及促進に努めた。

【標準的な運賃活用セミナーの開催状況】※再掲

標準的な運賃活用セミナー（活用編）

開催日時：令和5年10月20日（金）13時30分～17時00分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター 参加者数33名

(2) 安全性評価事業（Gマーク制度）の積極的な推進及び普及促進策の実施 **公益3-【1】**

- ① 安全性優良事業所数及び認定率

2023年度の安全性評価事業は、143事業所から申請があり、新規19事業所、初回更新18事業所、2回目更新24事業所、3回目更新16事業所、4回目更新19事業所、5回目更新17事業所、6回目更新30事業所の合計143事業所が認定を受けた。

（12月15日公表、熊本県の認定率34.9%）

② 安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上対策

巡回指導時に総合評価が良好だった事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか、次の説明会等を開催し、取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

また、熊本運輸支局と連携し、商工団体へのGマーク認定事業所に対しての優先利用の働きかけを行った（1月22日（月）実施）

ア 安全性評価事業作成要領説明会（（公社）熊本県トラック協会研修センター）

開催日：5月12日（金） 参加者60事業所77名

イ 令和5年6月21日～30日 申請書類の事前確認、延べ47事業所参加

ウ 支部毎のGマーク説明会の開催

①阿蘇支部 : 令和5年10月23日（月）10社11名参加

②熊本中支部 : 令和5年11月16日（木）13社14名参加

③人吉球磨支部 : 令和5年11月20日（月）12社15名参加

④菊池支部 : 令和5年12月 8日（金）23社29名参加

④ 安全性優良事業所のインセンティブ（県ト協独自）

ア 夜間従事者に対する2回目の健康診断料の一部助成 2,724名 2,724千円

イ Gマークラッピングトラックの実施

エムテックサービス(株)、(有)青井運送の計2台が11月から運行開始

ウ Gマーク認定事業所へののぼり旗の配布 新規及び更新事業所に対し2枚配布

エ Gマーク取得事業所の選任ドライバーの免許取得助成については、通常免許取得助成金に1万円を加算して助成。※インセンティブ対象者86名

④ 安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連続して10年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が授与された。（平成26年度創設）

【直近5年間における、年度別表彰事業所数】

	平成26年度～ 令和元年迄	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合 計
九州運輸局長表彰	6	1	0	2	1	10
熊本運輸支局長表彰	28	3	3	5	0	39

九州運輸局長表彰式 : 令和5年10月25日（水） 於：九州運輸局

(3) 適正化事業の推進による法令遵守の徹底 **公益3－【2】**

新規事業者や特別巡回指導及び総合評価が低く指導の必要性が高い事業者など、「巡回指導指針」及び「巡回指導マニュアル」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じて巡回指導を行った。

また、巡回指導を通じて、働き方改革関連法や改正貨物自動車事業法の改正に伴う周知を行った。

【巡回指導実績表】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
実績数	16	17	13	17	21	33	36	13	11	16	18	19	230	
内訳	通常	11	16	13	15	19	26	30	12	9	13	11	18	193
	新規	4	1	0	0	2	6	5	1	2	3	6	0	30
	特別	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	7
	霊柩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 重点項目

(1) 運行管理者試験対策 公益1－【5】

会員事業者の運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、専門の講師を招聘し、試験対策として、講師に自動車事故対策機構熊本支所の専任講師を招聘し、運行管理者試験対策勉強会を開催した。

【運行管理者試験対策勉強会】

- ① 開催日時：令和5年 7月19日（水） ト協研修センター（受講者 9名）
- ② 開催日時：令和5年 7月29日（土） 熊本県自動車会館（受講者 33名）
- ③ 開催日時：令和5年 8月 5日（土） 熊本県自動車会館（受講者 30名）
- ④ 開催期日：令和5年 8月 9日（水） 熊本県自動車会館（受講者 31名）  
 ➡令和5年度第1回運行管理者試験対策勉強会受講者合計 103名
- ⑤ 開催期日：令和6年 2月 6日（火） グランメッセ熊本（受講者 22名）
- ⑥ 開催期日：令和6年 2月14日（水） 熊本県自動車会館（受講者 25名）
- ⑦ 開催期日：令和6年 2月23日（金） グランメッセ熊本（受講者 53名）  
 ➡令和5年度第2回運行管理者試験対策勉強会受講者合計 100名

【運行管理者試験結果】

区分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第1回	8月5日～9月3日	346名	315名	114名	36.2%・全国順位9位 (全国平均33.5%)
第2回	2月17日～3月17日	264名	249名	77名	30.9%・全国順位37位 (全国平均34.2%)
合計		610名	564名	191名	

(2) 熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催 公益3

適正化事業実施機関の組織・運営の中立性及び透明性の確立を図るため、貨物自動車運送事業法第39条に基づき、学識経験者や荷主、マスコミ、消費者団体などで構成された評議委員会を開催し適正化事業に関して外部からの提言を受け、公正かつ着実な運営の推進を図った。

- ① 令和5年度第1回 令和5年11月22日（水）開催
- ② 令和5年度第2回 令和6年 3月11日（月）開催

(3) 運輸安全マネジメントの普及拡大 **公益2－【1】**

安全性評価事業の説明会や巡回指導等を通じて、運輸安全マネジメントに関するパンフレットを配布し普及促進に努めた。また、2023年事故防止カレンダーの表紙を利用して運輸安全マネジメントの作成ができるよう会員事業者へ配布し、普及拡大を行った。

(4) 法令の遵守及び安全対策の励行などに対する啓発 **公益2－【1】－(1)**

法令遵守等の情報提供として、「トラック広報くまもと」へ関連記事を掲載するとともに、「適正化事業課だより」の文書を発出し、会員事業者に対して法令遵守、安全対策の励行等に対する啓発活動を実施した。適正化事業課だより19件、災害だより4件、計23件の文書発出を行った。

(5) 苦情処理への適正・迅速な対応 **公益3－【3】**

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	0	2	1	2	8	4	5	2	3	3	1	5	36
違法駐車関係	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	2	1	1	0	0	1	1	6	2	2	1	2	19
合計	4	3	2	2	8	5	6	8	5	5	2	7	57

※その他内容：高速道路上における車両通行帯違反等

(6) 運行管理者一般講習及び整備管理者研修費助成 **公益2－【2】－(7)(8)**

輸送の安全確保と車両管理体制の充実を図り、会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、運行管理者及び整備管理者の選任者に対し、2年に1回の受講義務のある研修費用の助成を行った。

- ① 運行管理者一般講習 受講者数 936名 (計28回開催)
- ② 整備管理者選任後研修 受講者数 549名 (計7回開催)

(7) 過積載絶滅運動月間の推進 **公益2－【1】－(3)**

「過積載絶滅運動月間（11月1日～11月30日）」に、関係行政機関（熊本県過積載防止対策連絡会議）と連携を図り、過積載運行の街頭取締り及び啓発活動に参加し、運転者にチラシやグッズ等を配布した。

また、ポスターを作成し、事業者や荷主企業及び関係業界等に約1,300枚配布し、過積載防止に対する理解と協力を求めるため広く周知を図った。

**【街頭取締り及び啓発キャンペーン】**

- ①令和5年11月 1日 (水) 熊本河川国道事務所 八代維持出張所
- ②令和5年11月 9日 (木) 四方寄計量所
- ③令和5年11月14日 (火) 阿蘇一の宮計量所

【過積載運行に対する行政処分件数 (車両の使用停止)】

管内 \ 年度	令和3年	令和4年	令和5年
九州運輸局管内	3	1	9
熊本運輸支局管内	2	1	0

(8) 可搬式適性診断機器の利用促進 **公益2-【1】-<2>**

熊ト協及び各支部で貸出を行っている可搬式適性診断機器の活用を周知することにより、会員事業者の運転者に対する指導・監督の支援を行い、事故防止対策の促進とGマーク認定取得の拡大を図った。

【貸出状況】

( ) は対前年比

	上半期 (4月~9月)	下半期 (10月~3月)	全期 (4月~3月)
令和5年度	66事業者 (△22社) 1,570名 (△577名)	46事業者 (±0社) 1,022名 (△115名)	112事業者 (△22社) 2,592名 (△692名)

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 引越事業者優良認定制度及び消費者サービス向上 **公益3-【3】**

引越運送業務における実務担当者向けの引越管理者講習を開催し、実務担当者の資質の向上に努めるとともに、引越事業者優良認定制度の取得を促進し、一般消費者保護及び当業界のイメージアップを図った。

① 引越事業者優良認定制度

消費者に安全・安心な引越サービスを提供する事業者の情報を提供し、品質の向上を図るため引越事業者等を客観的に評価する「引越事業者優良認定制度 (平成26年度創設)」の推進を図った。

【2023年度 引越事業者優良認定制度に係る認定状況】

	熊 本 県	全 国
2023年度	新規認定1事業者	新規・更新認定248事業者
認定数合計	14事業者 (21事業所)	353事業者 (1,720事業所)

② 引越見積に関する引越運送約款や法令など実務担当者の資質向上を図るため、全日本トラック協会選任の講師を招聘し、引越講習会を開催した。

ア 引越基本講習

開催日時：令和5年6月7日(水) 10時00分~16時00分

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

参加者：11名

イ 引越管理者講習

開催日時：令和5年6月8日(木) 10時00分～16時00分

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

参加者：17名

③ 人吉地区における引越説明会の実施

令和2年豪雨災害被災者への災害公営住宅の完成に伴い、引越業者とのマッチングの機会を設けた。

ア 令和5年12月2日(土) 9時00分～16時00分 13世帯25名説明

イ 令和5年12月3日(日) 9時00分～15時00分 6世帯15名説明

(2) 荷主対策の深度化の推進 **公益1-【5】-〈1〉(カ)**

事業者の違反行為の基となる荷主情報の収集を図るため、巡回指導時において、国土交通省の意見投稿サイトの積極的な周知を図るとともに、国土交通省等と連携し、事業者の違反原因行為をしている荷主情報の収集に努めた。

(3) 高度なIT点呼システムの周知徹底 **公益2-【1】-〈2〉**

デジタル式運行記録計等の高度化に合わせ、IT機器等を活用した高度な点呼システムに関する情報の周知に努めた。

(4) 適正化事業指導員に係る資質の向上 **公益3**

適正化事業実施体制の強化(人員等)を図るとともに、全ト協及び九ト協主催の適正化事業指導員研修及び小規模研修会に参加し、適正化事業指導員としての能力向上と各県との巡回指導時における適否判定の統一化を図った。

① 小規模グループ適正化事業指導員研修会(長崎県開催)

令和5年 8月18日(金)

② 適正化事業指導員全国研修(専門研修)

令和5年 8月31日(木)～9月1日(金)

③ 九州・沖縄ブロック適正化事業指導員研修会(大分県開催)

令和5年11月28日(火)～11月29日(水)

④ 適正化事業指導員全国研修(スキルアップ研修)

令和6年3月22日(金)

## 〔労働対策委員会〕

### 1. 最重点項目

#### (1) 労働力・人材確保対策の積極的な推進 公益1－【2】－〈1〉

人口減少の中、生活と経済のライフラインである物流を永続的に続けていくため、高校新卒者や女性、高齢者等の労働力確保が不可欠であることを踏まえ、以下のPRの機会を捉えて、トラック運送業界の社会的役割等を積極的に業界の魅力をアピールする。

##### ① トラック運送業界の企業合同説明会の開催

関係機関等と連携し、会員企業の採用力向上と労働力・人材確保対策のため、熊本・玉名の県内2会場において、「トラック運送業界の企業合同説明会」を対面型により開催した。

この取り組みについて、国土交通省九州運輸局のホームページへ情報掲載し、多くの来場に繋げるべく広く周知を行った。

開催場所	開催日	参加企業数	来場者数
玉名市民会館	令和6年2月4日(日)	8社	25名
グランメッセ熊本	令和6年2月10日(土)	22社	111名

##### ② 物流出前授業等の開催

高校や大学などを訪問し、物流キャリア教育、運送業界や免許制度についての説明を行い、次代を担う若者の職業選択に関する情報提供と優秀な若年労働者の育成と運送事業の社会的地位向上に向けた物流出前授業を労働対策委員及び青年部会、女性部会の協力のもと次のとおり開催した。

また、熊本運輸支局と連携して、県内高等学校10校に対して、業界への就職等の働きかけを行った。

- ア 自衛隊若年退職者 〈任期制隊員18名〉  
開催日時：令和5年4月24日(月)14時00分～15時00分  
開催場所：陸上自衛隊北熊本駐屯地
- イ 自衛隊若年退職者 〈任期制隊員7名〉  
開催日時：令和5年4月25日(火)13時00分～14時00分  
開催場所：陸上自衛隊健軍駐屯地
- ウ 開新高等学校 〈生徒25名、教諭3名〉  
開催日時：令和5年6月18日(月)13時30分～14時20分  
開催場所：図書室
- エ 熊本学園大学 〈生徒90名、教諭1名〉  
開催日時：令和5年7月18日(火)13時00分～14時30分  
開催場所：4号館
- オ 九州学院高等学校 〈生徒6名、教諭2名〉  
開催日時：令和5年11月13日(月)16時40分～17時30分  
開催場所：教室
- カ 松橋高等学校 〈生徒13名、教諭1名〉

開催日時：令和5年11月14日（火）16時00分～16時50分

開催場所：多目的教室

- キ 熊本国府高等学校 〈生徒495名、教諭17名〉  
開催日時：令和5年11月21日（火）14時25分～15時15分  
開催場所：体育館
- ク 熊本学園大学 〈生徒18名、教諭1名〉  
開催日時：令和5年12月4日（月）14時40分～16時10分  
開催場所：11号館5F1151教室
- ケ 有明高等学校 〈生徒81名、教諭5名〉  
開催日時：令和6年1月29日（月）12時15分～13時05分  
開催場所：みらい館（講義室）

③ 高校新卒者等の採用促進のための総合的な対策の実施

高校新卒者等の採用を促進し、若年ドライバーの確保を図るため、サマースクールを開催。

開催日時：令和5年9月13日（水）13時30分～15時30分

開催場所：フクワ物流株城南物流センター

参加者：熊本学園大学3・4年生19名〈学生18名、教諭1名〉

九州産業大学3年生 13名〈学生12名、教諭1名〉

④ 人材確保に向けた各種取り組み **公益1－【5】－〈1〉－（イ）**

・人材確保セミナーの開催

労働力の確保・定着・育成等の人材確保対策や人材定着に向けた職場環境の整備が喫緊の課題となっている状況を踏まえ、若年者、女性、高齢者の求人、採用や育成方法並びに定着に向けた労務管理、それに係る助成金等の職場環境整備を内容としたセミナーを全ト協と連携し、開催した。

開催日時：令和5年11月15日（水）13時30分～16時30分

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター会議室

参加者：10社12名

講師：(株)コヤマ経営 代表取締役 小山 雅敬 氏

・ハローワーク熊本就職相談会

ア. 開催日時：令和5年11月27日（月）9時30分～11時10分

参加企業3社・求職者3名

イ. 開催日時：令和5年12月1日（金）9時30分～11時30分

参加企業3社・求職者4名

ウ. 開催日時：令和5年12月8日（金）9時30分～11時20分

参加企業3社・求職者7名

・ハローワーク熊本職業理解セミナー

開催日時：令和6年 3月13日（水）14時00分～14時30分

参加者：求職者13名

開催場所：ハローワーク熊本3F会議室

⑤ 外国人労働者の活用に向けた取り組み

トラックドライバーをその対象職種とするため、外国人技能実習生制度の活用を一つの方策と捉え、トラックドライバーの技能に関する項目の整理や全ト協の検討状況等について、情報収集に努めた。

⑥ くまもとお仕事探検フェア等の出展

高校生等向けに開催された熊本県雇用環境整備協会主催のお仕事探検フェアに参画し、来場の中高生に対して、物流を支える業界の重要性に関するPRのほか、ロールボックスを活用したピッキング作業やハンドリフト体験、車両への試乗体験などにより、作業効率化を行う業種としての魅力をアピールするなどにより、業界の社会的地位の向上を図った。

また、熊本県が主催するくまもと産業復興エキスポへ出展し、業界が行う災害復興の状況や働きがいのあるトラックドライバーの魅力等についてのPRを行った。

・事業名：「くまもとお仕事探検フェア2023」

来場者数：約4,500名（高校1、2年生、中学生、教諭、保護者等）

開催日：令和5年12月12日（火）

開催場所：グランメッセ熊本・展示ホール

・事業名：くまもと産業復興エキスポの出展

来場者数：10,180名（熊本県へ進出検討の企業、台湾半導体関連企業、大学・高専・高校生等の学生・教員、地方自治体職員、商工業団体関係者等）

開催日：令和6年2月28日（水）～29日（木）

開催場所：グランメッセ熊本・展示ホール

(2) 「働き方改革」の実現に向けた対策の推進 公益1－【5】－<1>

① 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の開催

令和5年度の取り組みとして、荷待ち時間の長い「農産物・キャベツ輸送」のパレット化による荷待ち時間・荷役作業時間の短縮に向けた、農産物輸送の効率的・効果的な取り組みを行うための実証実験を行った。

【構成員】学識経験者、荷主企業、運送事業者、関係団体等

・第16回熊本県地方協議会

開催日時：令和6年 3月15日（金）13時30分～

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会研修センター会議室

【構成員】 熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者

- ・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る第1回ワーキング会議

開催日時：令和5年 7月 3日(月) 13時00分～

開催場所：熊本運輸支局2F会議室

出席者：熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者、コンサルタント、県ト協

- ・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る第2回ワーキング会議

開催日時：令和6年 2月 1日(木) 10時00分～

開催場所：熊本運輸支局会議室

出席者：熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者、コンサルタント、県ト協

- ・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る第3回ワーキング会議

開催日時：令和6年 2月19日(月) 15時30分～

開催場所：熊本運輸支局会議室

出席者：熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者、コンサルタント、県ト協

## ② 働き方改革関連法への適切な対応

政府が進める働き方改革に伴う関連法の施行スケジュールが予定されている中、令和5年4月から月60時間超の時間外割増率5割への引上げや令和6年4月から自動車運転業務の時間外労働の上限規制年間960時間、改正改善基準告示の適用などを控えており、これらの課題に対応するためセミナーや説明会等を開催し、荷主企業を含めた運送業界への理解促進を図った。

- ・「2024年問題」対応セミナー

開催日時：令和5年10月11日(水) 13時30分～15時30分

開催場所：阿蘇熊本空港ホテルエミナース熊本・会議室りんどう

参加者：49社50名 ※うち荷主企業6社7名含む

講師：熊本働き方改革推進支援センター 社会保険労務士 村上 直己 氏

テーマ：運送業の「2024年問題」への対応

自動車運転者の改善基準告示の改正点、事例紹介、今後の対応等

## 2. 重点項目

### (1) 過労死等防止、健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進

健康起因事故防止セミナーを開催するとともに、助成事業等を通じて、過労死や健康起因事故の防止対策の普及・促進に努めた。

#### ① 各種セミナーの開催 **公益1-【5】-〈1〉- (エ)**

##### ア 健康管理セミナー

日時：令和5年9月7日(木) 13時30分～16時00分

場 所:熊ト協研修センター会議室

受講者:25社30名

講 師:NPO法人ヘルスケアネットワーク 副理事長 作本貞子 氏  
保健師 黒田悦子 氏

セミナー内容:定期健康診断の有効活用と健康経営への活かし方、高齢ドライバーと運  
転業務、睡眠時無呼吸症候群対策の基本的知識

イ 陸運事業者のための安全マネジメント研修

日 時:令和5年11月21日(火) 13時30分~16時30分

場 所:熊ト協研修センター会議室

受講者:25名

講 師:陸災防安全管理士・田畑 裕二 氏

セミナー内容:「運輸安全マネジメント」と「RIKMS」の概要説明、一体的運用方  
法、リスクアセスメントについて

② 助成事業 公益2ー【2】

ア 血圧計導入促進助成 1社 1台 45,400円

イ 睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査助成  
27社 215名 1,075,000円

(2) 大型・中型・準中型・けん引免許取得助成 公益1ー【2】ー〈1〉

若年ドライバーの確保及びドライバー不足の解消を図るため、会員事業者に在籍してい  
る運転者の他、免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、大型・中型・準中  
型免許・けん引免許の取得費用の一部を助成し、雇用の安定確保を図った。

助成件数(内訳)	大型	89名	6,690千円
	中型	20名	1,130千円
	準中型	9名	310千円
	限定解除	4名	140千円
	けん引	30名	1,110千円
	特例講習	2名	200千円
	合計	154名	9,580千円

※うちGマークインセンティブ86名含む

(3) 健康診断料の助成 公益2ー【2】ー〈2〉

運転中におけるドライバーの突発的な運転不能障害を引き起こす可能性が高い疾患を予防  
し、定期健康診断の受診率の向上と有所見率の低下に向けて、会員事業所に勤務するドライ  
バーを対象に生活習慣病予防健診、一般健診及び突発性運転不能障害疾患検査(脳ドック、心  
臓ドック)の助成を行った。

また、深夜業務等を行っている安全性評価制度・認定事業所については、取得のインセンテ  
ィブとして、特定業務従事者(夜間従事者)のドライバーに対する健診料の一部を助成した。

◇助成件数（内訳） 定期健康診断	8,659名	17,314,780円
Gマークインセンティブ助成	2,724名	2,724,000円
脳ドック・心臓ドック	87名	435,000円
合 計	11,470名	20,473,780円

(4) ウィズコロナ・アフターコロナへの対応 **公益1－【2】－<2>**

全ト協新型コロナウイルス感染症予防対策特別支援事業を活用し、接触の機会の低減することで、感染防止に繋げることを目的に、ウェブ会議用のタブレット端末、IT化促進のためのペーパーレス化に資する機器等の導入を進めた。

新型コロナウイルス感染防止対策として、ドライバー等の感染を防止し、国民生活と経済を支える持続的な物流の確保を図るため、会員事業所へサージカルマスク（不織布）の配布を行った。

・サージカルマスク全会員宛て配布 772社 計3,965箱

### 3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 働き方改革関連法改正等に係る対応 **公益1－【2】－<1>**

トラックドライバーの時間外労働上限規制（年間960時間）及び改正改善基準告示の遵守に向けて、全ト協作成のリーフレット等を活用しながら、巡回指導時や各種セミナー等を通じ、周知を行った。

(2) 自動車運送事業者の「働きやすい職場認証制度」の取得推進 **公益1－【2】－<1>**

「適正化事業課だより」及びトラック広報くまもと及び熊本県トラック協会ホームページ上により、制度及び申請方法等の周知を行うとともに、助成制度の周知普及促進を図った。

(3) ホワイト物流推進運動の促進

トラック輸送の生産性向上、物流の効率化等の取り組みを進め、持続可能な物流の実現に向けて、ホワイト物流推進運動への積極的な参画について周知徹底を行った。

(4) 労働災害防止対策の推進 **公益1－【5】**

熊本県トラック協会ホームページにおいて、荷主先を含めた労働災害の発生状況等の実態を調査分析・把握するため、陸上貨物運送事業労働災害防止協会等関係機関と連携を図り、第14次労働災害防止計画（2023～2027）を踏まえた各種労働災害防止に取り組みを行った。

・令和5年度交通・荷役労働災害防止キャンペーン

日 時：令和5年12月4日（月）10時～

場 所：(株)内田陸運・熊本営業所

参加者：33名

## 〔専門部会〕

現在設置されている8部会（食料品部会、木材輸送部会、重量物輸送部会、ダンプトラック部会、セメント部会、引越部会、青年部会継運会、女性部会）において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。

また、九州ブロックにおいて、重量部会及び飼料・畜産部会が設立されたことに伴い、新たに県ト協に9部会となる飼料・畜産輸送部会を新設し17事業者が加入した。

なお、本年度の活動は次のとおりです。

### 1. 食料品部会（45事業者）

- (1) 4月 5日（水）福ト協会議室・九州ブロック食料品部会部会長会議
- (2) 7月20日（木）熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (3) 8月 1日（火）全ト協会議室・第44回食料品部会総会
- (4) 9月 9日（金）北九州青果/リーガロイヤルホテル小倉・福岡県トラック協会食料品部会/全体会議及び実務担当者研修会
- (5) 9月29日（金）八仙閣・令和5年度九州各県トラック協会食料品部会全体交流会
- (6) 2月14日（水）ザ・ニューホテル熊本・熊ト協食料品部会及び実務担当者研修会
- (7) 3月15日（金）全ト協会議室・全ト協食料品部会研修会

### 2. 木材輸送部会（21事業者）

- (1) 6月17日（土）アートホテル大分・南九州四県合同木材輸送部会「部会長会議」
- (2) 7月19日（水）熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (3) 8月24日（木）大分センチュリーホテル・南九州四県合同木材輸送部会「事務局会議」
- (4) 10月13日（金）ホテル日航大分オアシスタワー・第29回南九州四県合同木材輸送部会「大分大会」
- (5) 2月16日（金）熊ト協会議室・第2回部会員会議

### 3. 重量物輸送部会（17事業者）

- (1) 4月13日（木）全ト協会議室・常任委員会
- (2) 5月26日（金）全ト協会議室・第2回「NR速度抑制装置検討ワーキンググループ」
- (3) 6月13日（火）ホテル日航大分オアシスタワー・全ト協重量部会総会
- (4) 7月29日（土）紅蘭亭下通本店・第1回部会員会議
- (5) 10月27日（金）紅蘭亭下通本店・第2回部会員会議/研修会
- (6) 10月30日（月）全ト協会議室・第3回「NR速度抑制装置検討ワーキンググループ」
- (7) 11月28日（火）WEB参加・実務担当者研修会
- (8) 2月 5日（月）全ト協会議室・第4回「NR速度抑制装置検討ワーキンググループ」
- (9) 2月 8日（木）リーガロイヤルホテル広島・全ト協「経営者研修会」
- (10) 2月13日（火）福ト協・第1回九州ブロック重量部会
- (11) 2月22日（木）和食物語桜子・第3回部会員会議

### 4. ダンプトラック部会（55事業者）

- (1) 7月18日（火）全ト協会議室・第47回ダンプトラック部会総会

- (2) 9月 7日 (木) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (3) 2月19日 (月) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (4) 3月 5日 (火) 全ト協会議室・各トラック協会部会長会議/各トラック協会部会長及びワーキンググループ合同会議

#### 5. セメント部会 (10事業者)

- (1) 7月21日 (金) 全ト協会議室・第41回セメント部会総会
- (2) 8月23日 (水) 金之助八代本店・第1回部会員会議
- (3) 9月21日 (木) アートホテル大分・九州四県合同セメント部会 (大分大会)
- (4) 11月16日 (木) 熊ト協城南支部会議室・第2回部会員会議
- (5) 2月 8日 (木) 熊ト協城南支部会議室・第3回部会員会議
- (6) 3月13日 (水) 全ト協会議室・全ト協セメント部会・生コンクリート輸送部会合同研修会

#### 6. 引越部会 (16事業者)

- (1) 10月 3日 (火) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (2) 11月 2日 (木) ホテルマリックス・九州5県引越部会における合同研修会 (宮崎会場)
- (3) 人吉地区における引越説明会の実施

令和2年豪雨災害被災者への災害公営住宅の完成に伴い、引越業者とのマッチングの機会を設けた。

ア 令和5年12月2日 (土) 9時00分～16時00分 13世帯25名説明

イ 令和5年12月3日 (日) 9時00分～15時00分 6世帯15名説明

- (4) 2月 2日 (金) 熊ト協会議室・第2回部会員会議

#### 7. 青年部会継運会 (48名)

- (1) 4月12日 (水) TKP熊本カンファレンスセンター・九州地区運輸青年部連絡協議会第1回役員会
- (2) 4月21日 (金) ホテルメルパルク熊本・令和5年度通常総会
- (3) 4月21日 (金) ホテルメルパルク熊本・第1回正副、役員会
- (4) 5月29日 (月) 宮崎観光ホテル・九州地区運輸青年部連絡協議会第2回役員会
- (5) 6月 7日 (水) TKP熊本カンファレンスセンター・第2回正副、役員会
- (6) 6月16日 (金) 全ト協会議室・第1回全国代表者協議会
- (7) 8月 4日 (金) 市民会館シアーズホーム夢ホール・第1回九州ブロック大会実行委員会
- (8) 8月17日 (木) TKP熊本カンファレンスセンター・第3回正副、役員会
- (9) 8月18日 (金) 三十三堂 (鹿児島県)・鹿児島県・宮崎県・熊本県三県交流会
- (10) 9月14日 (木) 八仙閣 (福岡県)・九州地区運輸青年部連絡協議会第3回役員会
- (11) 10月25日 (水) 市民会館シアーズホーム夢ホール・第2回九州ブロック大会実行委員会
- (12) 11月 9日 (木) TKP熊本カンファレンスセンター・第4回正副、役員会
- (13) 11月 9日 (木) TKPカンファレンスセンター・「2024年問題」への労務対応セミナー
- (14) 11月21日 (火) 全ト協会議室・第2回全国代表者協議会
- (15) 11月28日 (火) ～30日 (木) 台湾・先進企業等視察研修

- (16) 12月11日(月) MRTmicc(宮崎市)九州地区運輸青年部連絡協議会第4回役員会
- (17) 1月26日(金) 宮崎観光ホテル・青年部会九州ブロック宮崎大会
- (18) 2月7日(水) 市民会館シアーズホーム夢ホール・第3回九州ブロック大会実行委員会
- (19) 2月14日(水) 熊ト協会議室・女性部会との合同研修会
- (20) 2月15日(木) 全ト協会議室・第3回全国代表者協議会
- (21) 2月16日(金) 京王プラザホテル・青年部会全国大会
- (22) 2月22日(木) TKP熊本カンファレンスセンター・第5回正副、役員会
- (23) 3月11日(月) 市民会館シアーズホーム夢ホール・第4回九州ブロック大会実行委員会

#### 8. 女性部会(肥後六花会)(28名)

- (1) 4月22日(土) 熊本グリル悟朗・第1回部会員会議及び懇親会
- (2) 5月19日(金) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (3) 7月19日(水) 全ト協会議室・九州ブロック女性協議会第1回役員会
- (4) 7月19日(水) 全ト協会議室・第1回全ト協女性部会正副部会長会議
- (5) 7月19日(水) 全ト協会議室・全ト協女性部会全国代表者協議会
- (6) 8月18日(金) 熊ト協会議室・第3回部会員会議、城見櫓・講演会及び意見交換会
- (7) 9月14日(木) ホテルクオーレ長崎駅前・九州ブロック女性協議会第2回役員会
- (8) 10月13日(金) 明治記念館・全ト協女性部会全国研修会
- (9) 11月24日(金) ザ・フォレストテラス熊本・全ト協女性部会九州ブロック研修会
- (10) 2月14日(水) 熊ト協会議室・第4回部会員会議、青年部会継運会合同研修会
- (11) 2月16日(金) 九州沖縄トラック研修会館会議室・九州ブロック女性協議会第3回役員会